

【河川】第11回雄物川圏域流域治水協議会作業部会 「成瀬ダム」現地視察を開催しました！

令和5年10月12日
湯沢河川国道事務所

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第七回目となる現地視察では、雄物川沿川の洪水被害軽減等の目的に建設が進められている成瀬ダムの現地視察を行ったものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和5年10月12日(木) 13:00～16:20
- 現地視察箇所：成瀬ダム
- 出席者：気象庁秋田地方気象台、秋田県仙北地域振興局(建設部)、大仙市(総合防災課)、横手市(危機対策課)、湯沢市(総務課総合防災班)、美郷町(住民生活課)、東成瀬村(民生課)、東北地方整備局(成瀬ダム工事事務所・湯沢河川国道事務所) 計 21名参加

- 次第 進行：事務局 湯沢河川国道事務所 流域治水課
- 1. あいさつ(成瀬ダム工事事務所 木村調査設計課長)

2. 成瀬ダム現地視察

- 1) 成瀬ダム KAJIMA DX LABO 見学
- 2) 成瀬ダム 現地視察
 - ① 堤体施工状況視察
 - ② 原石山展望台より視察

3. 意見交換



成雄物川流域治水協議会 作業部会
(成瀬ダム工事事務所 参集状況)



↑KAJIMA DX LABO (ジオラマ前)にて説明



↑KAJIMA DX LABO コンシェルジュの説明



←タブレットに
映し出される
3D画像



←右岸展望台
での説明



↑右岸展望台より堤体下流面を望む
(世界最先端の自動化施工を実現している成瀬ダム堤体打設状況)



↑原石山展望台より堤体上流面を望む (堤体積の約8割まで進捗：R5.9末)



←令和5年7月からベルトコンベアを
本格稼働させ、CSG運搬の高速化・
安定化・省人化を図っています。

令和8年度成瀬ダム完成を目指し鋭意施工中です。